
霞（かすみ）のように消え去りぬ

猫目石

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

かすみ
霞のように消え去りぬ

【Nコード】

N5216Z

【作者名】

猫目石

【あらすじ】

小学校を卒業してから数十年、同窓会に出席した。

そこで見た嘗てのクラスメイトの姿に主人公は驚きを隠せなかった。

同窓会会場で奴の姿を見た瞬間、それまで抱いていた感情が消滅した。

というか瞬時に吹っ飛んで完全に無くなってしまった。

四字熟語でいうところの『雲散霧消』の意味そのままである。

長年、心の隅に巣喰っていた奴への『怨み』の念がなくなっていた。それは、もう呆気ないほど見事に。

奴とは嘗てのクラスメイト、山根。

ウン十年前、私を虐めた悪餓鬼だった。

当時、私は小学校二年生、八歳だった。

イジメに遭っていた。

その頃の私はコロコロと子豚のように太っていた。

おまけに高圧的な性格の母の影響で自信のない内気な子供だった。

気弱な肥満児、格好のイジメの対象だった。

幼少時の記憶はピンポイントで、ある特定の部分のみが鮮やかに残っている。

当時、通っていた小学校の校庭には小山があってトンネルが掘られていた。

もう今では、どうしてそうなったのかも思い出せない。

山根ともう一人の悪餓鬼^{ワルガキ}工藤、この二人に私は虐められ追いかかれトンネルの中を転げるように走っていた。

怖くて必死に逃げ回っていた記憶だけが残っている。

アイツらにしてみれば楽しく狩りでもしている気分だったのだろう。だけど、獲物のように追い回された私は怖くて堪^{たま}らなかった。

小学校時代、私は図書館にばかり通っていた。

一般受けする外遊びが好きな明るい性格の子供とはお世辞にもいえなかった。

太り気味の容姿、本好きという気質は集団から弾かれる要素だったのだろう。

子供は天使なんて大嘘である。

実際の子供は天使よりも悪餓鬼の方が遙かに多い。

精神的に未熟な子供は相手に対する配慮がない。

容赦なく他人の弱点を攻撃してくる。

お蔭で、しょっちゅう、私は『デブ、デブ』と揶揄された。

田舎だったせいもあるのだろう。

中学生の頃など通りすがりの見も知らぬ男子にまで『デブ』と言われたことがあった。

今、改めて思い返してみても本当に失礼な奴らだ。

私が太つていようが痩せていようが、貴様らに何の関係があるんだ！
いちいち、他人^{ひと}さまのことを論^{あげつら}ってんじゃねえ、馬鹿野郎！

んっ？ チョツと脱線しました。

きつと虐めた側は私を虐めたことなどコロツと都合よく忘れてしまつただらうと思う。

それはもう、アツサリと自省もなく忘却の淵へと押し流してしまつたに違いない。

ただど虐められた側は、そうそう簡単に忘れたりはしない。

私の心の片隅に『怨み』^{かたすみ}の念は執念深く居座り、時折チロチロと燦^{くすぶ}り続けた。

そして、ウン十年後に出席した同窓会で私は嘗ての同級生の山根を見た。

奴は・・・太っていた！

八歳の頃の私以上に、いや、デブデブといっても構わないほどに肥満したダサイ中年親父になっていた。

子供の頃のスラッとした面影など何処にも見当たらなかった。

みっともないほどブクブクと肥え太っていた。

そんなアイツを見た瞬間、私の長年の怨恨は完璧に粉碎された。まるで殺生丸さまが、愛刀、爆碎牙を振るつたかのように。

凝り固まった『怨み』の念は木っ端微塵に碎け散り霞のように消え失せていた。

完全に、跡形もなく、綺麗サッパリ消滅していた。

実に爽快な気分だった。

心の中で私は（かいさい）を叫んでいた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5216z/>

霞（かすみ）のように消え去りぬ

2011年12月17日18時53分発行